



日本経済 (週次) 予測 (2015年3月23日)

内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: inada-y@apir.or.jp

ポイント

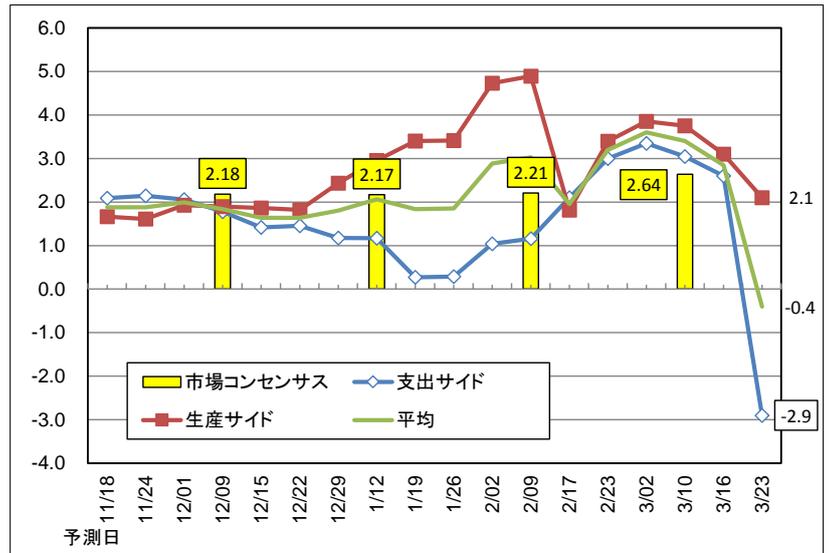
▶ 今週の予測に更新されたデータは、民間企業設備、公的固定資本形成及び純輸出の予測値に影響を与える。

▶ 1月の公共工事は3カ月連続の前月比マイナス。結果、1-3月期の実質公的固定資本形成の予測値は先週から下方修正された。

▶ 2月の実質輸出指数(日銀ベース)は3カ月ぶりの前月比マイナス。一方、2月の実質輸入指数(日銀ベース)は4カ月連続の同プラスとなった。結果、1-3月期の実質純輸出の予測値は先週から大幅下方修正された。

▶ 今週の超短期モデル(支出サイド)は、1-3月期の実質 GDP 成長率を前期比-0.7%、同年率-2.9%と予測。先週の予測から大幅下方修正。1-3月期の内需は横ばい、純輸出は一転縮小するためである。

CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率
2015年1-3月期 (%、前期比年率換算)



<2月の純輸出大幅悪化、1-3月期成長率はマイナスへ>

先週更新されたデータは、2月の貿易統計、1月の全産業活動指数、景気動向指数(改訂値)及び建設総合統計である。これらは、民間企業設備、公的固定資本形成及び純輸出の予測値に影響を与える。

1月の公共工事は前年比+3.6%増加した。36カ月連続のプラスだが、2013年9月の同+26.7%をピークとし減速トレンドが続いている。季節調整値は前月比-2.4%減少し3カ月連続のマイナス。結果、1月実績は10-12月平均比-3.1%減少した。1月実績は事前予測を下回ったため、1-3月期の実質公的固定資本形成の予測値は先週から下方修正された。

2月の貿易収支は32カ月連続の赤字を記録したが、赤字幅は前年比-47.3%縮小した。季節調整値では48カ月連続の赤字となり、赤字幅は前月比+54.9%となり3カ月ぶりに拡大した。

2月の実質輸出指数(日銀ベース)は前月比-8.6%と3カ月ぶりのマイナスとなった。実績値は事前予測を大幅下回ったため、1-3月期の実質財貨・サービス輸出の予測値は先週から大幅下方修正された。一方、2月の実質輸入指数(日銀ベース)は前月比+3.4%と4カ月連続のプラスとなった。実績値は事前予測を上回ったため、1-3月期の実質財貨・サービス輸入の予測値は先週から上方修正された。結果、1-3月期の実質純輸出の予測値は先週から大幅下方修正された。

2月の貿易統計の結果は、トレンドと比較して大きなノイズと考えられるため、純輸出の予測結果は今後上方修正される可能性が高いことに注意。ARIMAモデルはノイズの影響を引きずりやすく、新たなデータが更新されるにつれて上方修正される可能性が高い。

今週(3/23)の超短期モデル(支出サイド)は、1-3月期の実質 GDP 成長率を前期比-0.7%、同年率-2.9%と予測。2月の純輸出が大幅悪化したため、先週の予測(+2.6%)から大幅下方修正された。1-3月期の内需は横ばい(前期比 0.0%)、純輸出は一転縮小する(同-0.7%)。

- ・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。
- ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。
- ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 contact@apir.or.jp 06-6485-7690